

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】高梁市中之町9

【時代】江戸時代後期

【指定年月日】昭和31年6月1日

【所有】高梁市

【見学】可

【見学時の注意】

幼稚園の敷地のため、敷地内へは無断で入らないこと。



ゆうしゅうかんのくろまつ

有終館のクロマツ

かんけい しまち
関係する市町

たかはし し
高梁市



この天然記念物について

ゆうしゅうかん いたくらかつすみ い せ かめやま いほう
有終館は、藩主板倉勝澄が伊勢亀山から移封後の
えんきょう がくもんじょ かんせい
延享3（1746）年に開かれた学問所が発展したもので、寛政年
かつまさ ほんごう
中（1790年代）の勝政時代に藩校として確立しました。

てんぼう ほんちょう
有終館は、天保2（1831）年、城下町の本丁にあった建物が
しょうじつ してい なかのちょう
焼失し、子弟の通学に便利な中之町の現在地に移されました
たいか がくとう
が、天保10（1839）年の城下の大火で再度焼失し、学頭
やまだほうこく ようぼう けいひ さいけん
山田方谷の強い要望により、五年間の学校経費を投入して再建
されました。このクロマツは、その際に、山田方谷によって植
えられたものと言われています。